

事務事業マネジメントシート(平成22年度実績と平成23年度計画)

平成23年10月14日更新

事務事業名		高後山雨水幹線整備事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり			所属部	水道局	課長名	久留 伸二
	施策	1	危機管理・防災対策の推進			所属課	上下水道課	担当者名	松永 博貴
	基本事業	1	災害の未然防止対策			所属班	管理工務班	(内線)	1197
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	下水道法・都市計画法	
		下水	2	1	2	10242 他		成果優先度評価結果	③
								コスト削減優先度評価結果	
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 22年度で終了 <input checked="" type="checkbox"/> 22年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 ~ 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 22 ~ 23 年度)		

★事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	公共下水道雨水計画に基づき函渠を整備することにより、大雨による雨水があふれることを防ぐ事業である。3カ年計画で整備する。19年度：実施設計を実施した。21年度：385mを布設 22年度：152.5m 23年度：248.5mを布設公共下水道雨水計画に基づき、大雨による災害等から市民の生命と財産を守るため、公共下水道雨水計画に基づき、全体計画の約49%を整備してきている。近年、雨水による被害は、起こっていない。今後、雨水による被害が、起こり得る可能性がある。須屋線改良事業の進捗状況によっては、事業の変更が考えられる。
(開始した背景、きっかけ、今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	①須屋線改良事業との調整②工事設計書の作成③道路占用申請④工事請負契約の締結⑤雨水函渠工事⑥竣工検査⑦支払い事務
【主な予算費目】	工事請負費、委託料
【意見や要望】	対象地域住民から早期着手の要望が寄せられている。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 22年度実績(22年度に行った主な活動) (DO)	23年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
雨水函渠工事の実施	雨水函渠工事の実施(期間限定複数年度事業の完了年度)
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア 函渠布設延長	m 建設課道路改良工事区間の変更による、雨水函渠布設延長の増減
→ イ 整備面積	ha
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)
対象区域(財産)と市民	→ ア 対象世帯数 戸
	→ イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)
浸水被害から守られる	→ ア 浸水想定戸数 戸
	→ イ
*③成果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠 これまでの降雨実績と、工事箇所の地形等により設定。	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	20年度実績(決算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	24年度予定	25年度見込	
① 活動指標	ア	m	0	385	152.5	152.5	248.5	0	0	
	イ	ha	0	3.1	2.5	2.5	0.1	0	0	
	② 対象指標	ア	戸	0	44	44	44	44	0	0
	イ									
③ 成果指標	ア	戸	0	10	5	5	0	0	0	
	イ									
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円		49,762	22,500	12,500	51,500		
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円		33,100	20,200	14,600	71,500		
		その他	千円			699	1,394	3,949		
		繰入金	千円		42,463					
	一般財源	千円			1,601		8,051			
(A) 事業費計	千円	0	125,325	45,000	28,494	135,000	0	0		
(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0		
(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0		
人件費	正規職員従事人数	人	0	4	3	3	3	0	0	
	延べ業務時間	時間	0	1,263	1,200	855	100	0	0	
	(B) 人件費計	千円	0	5,026	4,776	3,522	412	0	0	
トータルコスト(A)+(B)	千円	0	130,351	49,776	32,016	135,412	0	0		

総トータルコスト  
全体計画  
~23年度

(期間限定複数年度のみ記載)

166,537

事務事業名	高後山雨水幹線整備事業	所属部	水道局	所属課	上下水道課
-------	-------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

\*原則は22年度の後評価、ただし複数年度事業は22年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①22年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②23年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 23年度も22年度に引き続き工事を施工するため。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 雨水整備が100%ではないため。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業がない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 函渠工事については、工事請負費であり、可能な限り集約して競争入札により発注を行い更なるコスト削減を図る。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 雨水対策は生活に直結する重要事業であり、削減余地は無い。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 浸水が想定される市民の安全を守る事業であり、公平・公正である。
	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 雨水函渠整備事業は災害対策であり、行政が行うべき事業であるため適正である。

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

22年度は順調に事業が進んでおり、23年度も事業完了を目指し雨水整備を進めていく。

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	○			低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持	○																				
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p>																						